

2010(平成22)年度

追手門学院 事業報告書



- 02 ■ 理事長メッセージ
- 02 ■ 教育理念・教育方針

① 法人の概要

- 03 ■ 追手門学院の3つの基本目標
- 03 ■ 追手門学院を拓く6つの提言
- 04 ■ 沿革
- 05 ■ 設置する学校・校地面積・建物面積
- 06 ■ キャンパスリニューアル
- 06 ■ 大阪城スクエア
- 07 ■ 役員・評議員・後援会組織
- 08 ■ 組織図

② 事業の概要

- 09 1.追手門学院
- 12 2.追手門学院大学・大学院
 - 15 ■ 学部
 - 経済学部
 - 経営学部
 - 心理学部
 - 社会学部
 - 国際教養学部
 - 17 ■ 大学院
 - 18 ■ 図書館・研究所
 - 図書館
 - 教育研究所
 - オーストラリア研究所
 - 地域支援心理研究センター
 - ベンチャービジネス研究所
- 20 3.追手門学院中・高等学校
- 21 4.追手門学院大手前中・高等学校
- 22 5.追手門学院小学校
- 23 6.追手門学院幼稚園

③ データ集

- 24 ■ 学生・生徒・児童・園児数
- 24 ■ 教職員の概要
- 25 ■ 大学・大学院の入試結果
- 26 ■ 各校園の入試結果
- 27 ■ 大学卒業者の進路
- 29 ■ 各校園の進路



④ 財務の概要

- 30 ■ 消費収支計算書
- 31 ■ 資金収支計算書
- 32 ■ 貸借対照表
- 34 ■ 資産運用について
- 35 ■ 連続消費収支計算書(2001年度から2010年度まで)
- 36 ■ 財務比率の推移
- 37 ■ 財産目録
- 38 ■ 収益事業
- 38 ■ 監査報告書

⑤ 出資事業会社

- 39 ■ 株式会社オーティーエム

2010年度の終わりに、『追手門の歩み—世紀をこえて—』を出版しました。「独立自彊・社会有為～自由と調和の人間教育をめざして～」という教育理念を学院構成員に伝えたいと、長く念願していたものがやっと形になりました。今後はこれをテキストとして建学の精神が伝承され、自校教育を推進できるものと期待しています。

学院創立120周年記念事業が完遂し、両中・高創立60周年記念事業も無事終わり、国際交流推進年が展開され、2011年には大学創立45周年を迎えようとしています。

この間における募集は、幼小中高では、かろうじて踏みとどまったという感じです。大阪府の補助金行政に大きな変化があり、小中学校業界では、将来補助金ゼロの時代が来るのではないかとという危惧が抱かれます。大学では、一般入試で危うさが見えました。中・高では、募集状況は回復。進学でも一定の成果が出ました。また、プロサッカーチームJ1・ガンバ大阪のガンバユースの受け入れが決まりました。大手前中・高では、中学入試で落ち込みがありましたが、進学結果では飛躍しました。大学の就職率は大幅な改善が見られました。全国的に厳しい状況下にある中で、就職率において顕著に回復が図られたのはまさしく朗報でした。

2010年11月にJR茨木駅前のサッポロビール工場跡地に立命館大学が進出することが発表されました。既に高槻市に進出している関西大学に加えて、さらに立命館との間で、これまで以上の協力的、協調的関係を築くことを目指すこととしました。あいにく本学院のサッポロビール工場跡地への進出はかないませんでした。今後も新たなキャンパス地を確保して、新しい事業展開を目指そうと計画中です。

将来計画に関しては、「追手門ビジョン120」を示し、将来計画推進委員会の答申を踏まえて、幼小中高では、中期事業計画をまとめました。大学でも、遅ればせながら委員会が設置されて検討を進めています。教育の中身については、答申にある自校教育、国際教育、心の教育、キャリア教育、一貫教育等々に関して、学院教育改革検討委員会で議論が開始されています。大学の改革については、大学ガバナンス改革検討委員会、大学創立50周年記念事業推進委員会が重要な役割を果たすはずで

大阪市内では、大阪城スクエアの活動が順調に3年目を迎えて認知度を高めました。北摂地域に関西大学に続いて立命館大学が来るとなれば、本学はこれら大手の大学の間に埋没してしまう可能性があります。既に、この間、近隣の中小の学校法人の理事長が集まり、学校間の関係強化を目指す会を定例化しています。京都には、全国に知られた「コンソーシアム京都」という良いお手本があります。これらの学校が関与して、文化・教育の発展的地域として北摂地域が浮上する必要があります。過去から、本学は、茨木市を中心に社会貢献に努めてきましたが、今後は、大阪城スクエア以上の茨木地区、北摂地域での社会連携活動が必要だと考える次第であります。



理事長 大木令司

教育理念・教育方針

どくりつじきょう しゃかいゆうい
独立自彊・社会有為 ～自由と調和の人間教育をめざして～

追手門学院は、幼稚園から大学・大学院までの総合学園として、以下にあげる人物の養成を目標とし、地域社会、国家および国際社会において、指導的役割を果たしうる人間の育成を、その教育方針とするものである。

- ① 確固たる個性をもち、自他の人格を尊重し、節度をわきまえ、社会の秩序と平安を乱す有形無形の暴力を排除する、勇気ある民主的人物。
- ② 美的、倫理的価値に対し、鋭敏で健康な感受性をもち、真に自由な精神と強い意志をもった責任感のある人物。
- ③ 豊かな一般教養を身につけ、深く高い知識と思考力をもって、人文、社会ならびに自然の諸科学の正しい発展に寄与できる人物。
- ④ 日本の歴史、文化および芸術に対する深い造詣と、母語に見識をもつ豊かな表現力のある人物。
- ⑤ 国際的視野と国際的社会性、および地球的観点をもち、人類の繁栄に寄与し、社会に貢献することのできる人物。